

湘南フォーラム



持続可能な行政運営で
安心・安全なまちづくりを

山原 栄一 議員

令和2年度決算

問 決算で見えた課題を伺う。

市長 見通しを立てることが難しい人口減少社会においては、客観的に事業の成果を観察し、迅速な意思決定と臨機応変な対応が重要と考える。

今後の財政運営

問 人件費や扶助費などの義務的経費がいずれも増加しており、財政の硬直化が懸念されるが、今後の財政運営をどのように進めるのか伺う。

市長 限りある財源を本当に必要な施策に集中させ、

可決した 意見書

議員から、次の意見書が提案され、全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

中華人民共和国による人権侵害問題に対して強い対応を求める意見書(抜粋)

新疆ウイグル自治区で、大規模な恣意的勾留、人権弾圧が中国当局によって行われているという報道に対し国際社会は深く憂慮している。国連の人種差別撤廃委員会は、平成30年(2018年)9月、中国に関する総括所見を発表し、多数のウイグル人やムスリム系住民が法的手続きなしに長期にわたって強制収容されて「再教育」が行われていることなどについて、「切実な懸念」を表明している。

令和2年(2020年)10月には国連総会第3委員会ドイッなど39カ国が、香港とウイグル自治区での人権侵害に重大な懸念を表明する共同声明を発表し、ウイグルとチベットでの人権尊重と調査、香港の事態の即時是正を求めている。

そのような中、アメリカ議会は7月14日に輸入業者に対して、ウイグル産の輸入品が生産過程で強制労働と無関係であることを証明するよう義務付けるウイグル強制労働防止法を成立させた。この法は企業側に説明責任を負わせる内容で、証明できない限りウイグル産の製品や原材料の輸入は禁じるというものである。日本の国内企業にとっても現実的な経営リスクとなっており、平塚市内外の中小企業にとっても死活問題となりかねない。

よって政府は、可能な限り様々な手法を用いて情報を収集し、各種問題があった場合は、中国政府に対し厳重に抗議することを要請する。

令和3年7月3日や最近の大雨被害から

問 市の見解を伺う。

防災・危機管理監 近年は台風や梅雨前線などによる大雨が全国各地で頻発化、激甚化する傾向にあり、本市においても大規模な風水害が発生することを危惧している。今後、7月3日や8月15日の大雨に対しての検証を、ハード・ソフトの両面から行い、対応を進めるとともに、洪水対策として

河川改修を県に強く要望していく。

対策が急がれる 流域治水と河川改修

問 7月3日の大雨では、金目川周辺の被害想定は19万9千人であった。金目川水系の上流域で治水対策を行うか、河川を改修するか、どちらかすぐに行えないのか伺う。

市長 どちらを先にというのはなかなか難しいと思うが、まずは県に対して河床



コロナ禍の中
市民を守る施策を

府川 正明 議員

ヤングケアラー

問 家族の世話や介護を担う子供であるヤングケアラーに関して、支援を推進するための実態調査は行ったのか。

健康・こども部長 現時点では実態調査は行っていない。県などの動向を踏まえて実施についての検討を行う予定である。

問 国は取り組むべき方向性を示しているが、本市も取り組む考えはあるのか。

市長 できる部分をしっかりと対応していきたい。

生きる権利を守る

問 生活保護に対する市民の理解度が低いと感じるが、どのように制度を周知しているのか。

福祉部長 ホームページに制度案内の「生活保護のしおり」を掲載し、リーフレットの「さまざまな困り事の相談窓口のご案内」も配布している。

スポーツクラブ

問 港地区で運営されている

湘南フォーラム 所属議員



出村 光 議員

改修などの予算要望を行っていききたい。

▼このほかの質問 可燃ごみ戸別収集の今後の展開平塚市に關係する幹線道路等の整備見直しについて

る地域スポーツクラブは大変厳しい運営状況である。今後どのように支援していくのか。

社会教育部長 厳しい運営状況に配慮しつつ、安心・安全なスポーツ環境の充実に向け、感染症対策の相談やスポーツ指導に係る人材の情報提供など、さまざまな支援に取り組んでいく。

安全な学校とは

問 児童生徒の安全を守るための取り組みと、危機管理意識の向上に対する考え方を伺う。

教育指導担当部長 各学校が、それぞれの実態に合った危機管理マニュアルを作成し対応している。必要に応じて教育委員会が指導・助言を行い、危機管理意識の向上に努めていく。

市議会 ホームページ

市議会に関する情報はこちら



常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

環境厚生

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第67号 令和3年度平塚市一般会計補正予算

問 社会福祉総務費の生活困窮者自立支援事業について、今年度の新規の申請者数と、家賃の平均額をどのくらいと想定して補正予算を組んだのか伺う。

答 新規の申請件数は8月末現在で63件である。給付金を算定するに当たっては、これまでの支給実

績から計算した4万1千円を平均の家賃額として積算を行っている。

問 老人福祉費の介護保険施設整備等助成事業について、補助金の内容と申請件数を伺う。

答 県の地域医療介護総合確保基金(介護分)補助金を活用し、センサーやカメラにより、利用者のベッド上での異変を早期に把握するための見守りセンサー、ケア内容や体調管理を一元管理する介護記録システムなどの整備に関する助成を行う。今回の申請件数は1

件で、県の交付決定も1件となっている。

問 青少年育成費の放課後児童健全育成事業について、パソコンの導入は全クラブで行うのか。また入退出管理支援システムは、どのような経緯で導入するのか伺う。

答 パソコンは全クラブへ配備する予定である。入退出管理支援システムを計上した経緯は、令和2年度の国交付金交付要綱からICT化事業が追加されたため、少ない人数で児童の指導をしている支援員の事務負担が少しでも軽減さ

れるように、各クラブへ状況を確認し、補正予算を計上した。

問 予防費の新型コロナウイルスワクチン接種事業について、市役所の平日接種での駐車場の警備費用で8214万5千円とあるが、どのような想定をした金額なのか。

答 今回の補正予算については、平日夜間接種の駐車場警備の延長分を計上している。市役所の西側と東側に公道と面した出入口があるので、西側を1人3時間延長、東側を1人2.5時間延長、計39日間分として計上した。